

2019（令和元年） 幾代会 12月の観察会

トトロの森を歩く

発信者 中部喜和

日時 12月1日（日） 天気晴れ 風 微風

参加者 4名 木村 越前 羽深 中部 下見参加者 3名 岡 越前 中部

本日は朝から晴れた空である。風も朝の内はほとんどなく昼食はお弁当とすることを決定する。予報は曇りだったが覆して天気となる。拝島では時間が十分につきおにぎりを買う人、パンを買う人。予想通りお弁当持参の人。1本早い電車に乗る。拝島駅は日陰が寒く吹き抜けである。小平を經由せず萩山で乗り換える。西武遊園地で下車する。終点だからである。そこで乗り換え、かつては山口線として蒸気機関車が走っていたが、今は小型の電車が西武球場前まで2駅である。くねくねと曲がりながら起伏のある谷戸地を走る。この電車はあまりこままないのがよい？

西武球場前は人、人であふれかえっている。降りてみるとどうやら、ゴールになっているようだ。所沢マラソン大会とのことである。マラソンを尻目にコンビニで昼食を改めて買い増しする。

午前のコース

西武球場前→柳瀬川横断→トトロ15号地→3号地→16号地→北野谷戸→7号地→11号地→1号地→堀口天満天神社→28号地→清照寺→トトロの木→狭山湖（正式には山口貯水池）→取り入れ口付近の広場で昼食（風微風、時々木漏れ日）

- トトロの森とは民間の所有地とトトロ財団の所有地が混在した場所である。トトロ財団が所有した順に○○号地とつけていったものだろう。トトロ財団がトラスト運動として買い取り、点在することによって大規模開発が抑止され、古来から受け継がれた自然が残されている。トトロの森は狭山湖北側の周辺を囲うように点在し、そのために狭山湖は東京都の水瓶が汚されずに水道水を都民に送水していることになる。

昼食後のコース

狭山湖堰堤→22号地→八幡神社→大日堂→クロスケの家→大日堂バス停→小手指駅→拝島駅

- 狭山湖は昭和9年に東京都の水瓶として完成。平成14年11月に堰堤が強化される。所沢市と入間市の境界にまたがる。周辺は県立狭山公園となっている。埼玉県は「狭山丘陵生き物ふれあいの里」に指定「スポット1～3」を構成。スポット1は水鳥の楽園として指定。ダム方式はアースダムというのだそうだ。上部から水を流す場所はない。多摩川の水は玉川上水に取り入れられ玉川上水の羽村側から導水管を通してこの狭山湖に蓄えられている。
- 狭山湖の堰堤を歩くと水鳥の群れが見られた。遠望すると奥多摩の山々や秩父連山が連なり見られる山々には名前が付けられていた。反対側を見ると、西武遊園地の観覧車や西武ドームが見られる。

観察された植物

紅葉したイチョウ サクラ 樺 は見事。ユリノキは落葉していた。枯れ葉 コナラ クヌギ 柏
花が咲きそうなのが枇杷 咲いているが 茶ノ木 ヒイラギ
実が目立つのがトウネズミモチ ヒヨドリジョウゴ カラスウリ キツタ ハゼノキ
野草ではブタナが目立つ

解説

茶の栽培 茶の特徴 栽培地やケヤキの散布などを 越前幾代会代表に解説してもらい
狭山湖は 中部が解説した。

中部さんに作って貰ったまともに植物の写真を追記しました。 越前



ゲンショウコ(フウソウ科)

種の入った鞘がクルリと弾け
上方に曲がる。

エンジェルランプ(ナス科)

大きなラッパ状の花が下
向きに咲く。

チャノキ(ツバキ科)

狭山茶の茶畑、アーチ状
に奇麗に刈り込まれていた。

フセトウタ(キョウチクトウ科)

ハリセンボンのような棘の
ある果実が人目に付く



エリノキ(モクレン科)

落葉しマツカサ状の果実は
まだ枝に残る。

エリノキ(モクレン科)

サカキ(ツバキ科)

堀口天満店神社に植栽。
姫榊より大きくて艶がある。

ヒサカキ(ツバキ科)

榊の横で見かけた。



センソウ(キンポウゲ科)

花も奇麗ですが白い髭を付
けた果実も美しい。

ピラ(バラ科)

毛におおわれた蕾がふく
らみ今にも咲きそう。

サザンカ(ツバキ科)

あちこちで本種が咲き
初冬の訪れです。

トウネミモチ(モクセイ科)

葉脈が透けて見える。
黒い果実は丸みが有る。

来年1月からの観察予定地 次のページ

「1月の観察会」予定日1月第2週目の日曜日とします。